

## 環境放射線モニタ (PA-1000) を使った測定方法

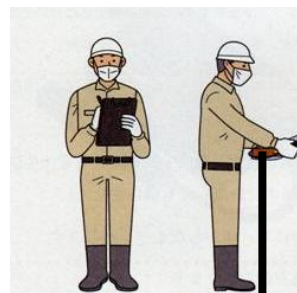
測定器はビニール袋から絶対に出さないでください。  
(ビニール袋に入ったままで測定値に影響はありません)

●測定は、測定する人と数値を記録する人の2人で行ってください。

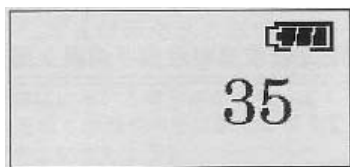
①一緒にお渡ししたパイプで100の表示1mの高さのところで機器を持ちます。

②電源を入れます。

(「Power」ボタンを押しピッと音が出るまで押し続けてください)

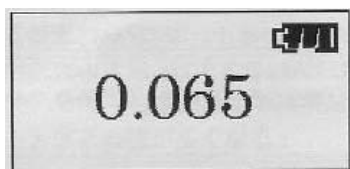


③35秒待ちます。画面に空間放射線量が表示されます。



※測定器起動中

④さらに60秒待ってください。(最初の60秒は計算の途中なので、その場所の正確な数値を表示しません)



※放射線量指示値

単位：マイクロシーベルト  
( $\mu\text{Sv}$ ) / 時間



⑤数値を読み取ります。10秒ごとに5回測定しますが、 $0.2\mu\text{Sv}$ 以上の値が計測された場合、その平均値から機器に表示した「補正值」を差し引いたものをその地点の放射線量とします。

⑥測定が終わりましたら「Power」ボタンを押し、電源を切ってください。  
(ピッと音が出るまで押し続けてください)

※食品、水、土壌等に含まれるセシウム等の放射性物質の濃度は、測定できません。

【裏面の注意事項もお読みください】

## 使用上の注意

- 測定器はビニール袋から絶対に出さないでください。ビニール袋に入っ  
たまま測定値に影響はありません。
- 精密機器ですので落としたり水に濡らさないよう、取り扱いには十分注  
意してください。
- 地面への直置きはしないでください。
- 測定器は、体からできるだけ離して、動かさないで測定してください。
- 測定値が 0.2 をこえた場合、測定器側面に記載してある補正值を平均値  
から引いてその地点の放射線量とします。
- 測定器は、沼田市以外での使用はできません。
- 電池切れにより測定ができなくなった場合、ご面倒ですが予備の電池を  
入れていただき、使用済みの電池は捨てずに返却してください。  
  
測定器は、必ずビニール袋に入れ直して測定してください。
- 測定器を破損、汚損した場合は、修繕費用の負担を求めることがありま  
す。